

令和7年6月 本会議 議事録

【年 月 日】令和7年6月9日 【答弁番号】19-3

【質問件名】北九州市役所本庁舎食堂の再開について

【質 問 者】小金丸 かずよし 議員（まるまる戸八会）

【作 成 課】総務市民局給与課

■小金丸かずよし 議員

次に、北九州市役所本庁舎食堂の再開について、伺います。

北九州市役所本庁舎が開庁した1972年から約50年間に渡って市職員、市民の方々に親しまれてきました本庁舎地下の食堂が今年の2月に閉店しまして、早1年以上が経過をしています。

この間、本市では、市の行政財産を有効活用し、市民の利便性の向上や職員の福利厚生の実現を図るため、本庁舎地下食堂運営事業者に係る公募型プロポーザルを行い、昨年12月に運営事業者が決定をしまして、現在、再開に向けた準備を進めているとお聞きしています。

北九州市役所本庁舎は小倉の中心地に位置し、近隣には来訪者が急増している小倉城や、多くの市民の方々が利用する勝山公園や中央図書館などもあるため、新しくオープンする食堂は、運営次第では市職員のみならず、観光客やビジネスで利用される方々などの利用も見込むことが考えられます。武内市政が目指す「稼げるまち」へ向けての経済効果も生まれる可能性も十分にあり、期待感も高まっているところであります。

そこで、本庁舎地下食堂の再開に向けましたスケジュールと、再開について市民に今後どのように周知していくのか、見解を伺います。

■三浦隆宏 総務市民局長

私からは、北九州市役所本庁舎食堂の再開について、本庁舎地下食堂の再開に向けたスケジュールと市民への周知方法についてのご質問にお答えいたします。

北九州市役所本庁舎の地下食堂は、本庁舎開庁以来約50年に渡って運営してこられました民間事業者が撤退したため、昨年2月に惜しまれつつも閉店となりました。

そこで、新たな食堂の運営事業者を募るため、公募型プロポーザル方式による選定を実施し、昨年12月に「一般社団法人 まちはチームだ」に決定したところでございます。

主な提案内容としましては、1つは、ランチタイム以外にもカフェとして利用可能となる予定であり、市職員や来庁者がビジネス上の打ち合わせなどにも活用できること。2つ目に、当該事業者は、小倉城などの指定管理も行っておりまして、観光面との相乗効果を狙

った運営も可能であることなどございまして、食堂の新たな展開が見込める内容となっております。

また、ご指摘のとおり、市役所本庁舎の周辺には様々な施設が集積していることから、新しく生まれ変わった食堂を多くの市民や観光客の方にも利用していただけるのではないかと考えておりまして、経済効果も期待しているところでございます。

再開に向けましたスケジュールにつきましては、現在行っている内装や設備等の工事全般を7月中旬を目途に完了させ、その後約1か月間、シミュレーションや従業員教育等のオープン準備を行った後、この秋にも再開予定でございます。

また、再開にあたりましては、SNSや市政だよりなど様々な媒体を利用しまして、市民の皆様へ周知していくとともに、リニューアルオープンのお披露目の機会を設けるなど市民の関心を高めることで、より多くの方に利用していただけるよう、取り組んでまいりたいと考えております。私からは以上です。

■小金丸かずよし 議員

本庁舎地下食堂ですね、非常に楽しみにしております。私もランチ難民に陥っておりますので、是非広報に力を注いで行きたいと思います。先日天神の再開発でできたワンビルの食堂に行きましたけれども、キャッシュレスですとか、非常に早く利用できる食堂で、すごく活用されているなと感じましたのでお伝えしておきます。